

地球にやさしい学校大賞

学校活動報告書

(令和 6 年度実績)

小学校 3 2 校

目 次

○小学校（32 校）

所沢小学校 …P. 2-3	松井小学校 …P. 24-25	上新井小学校 …P. 44-45
南 小学校 …P. 4-5	若松小学校 …P. 26-27	北野小学校 …P. 46
北秋津小学校 …P. 6-7	安松小学校 …P. 28-29	北中小学校 …P. 47-48
荒幡小学校 …P. 8-9	和田小学校 …P. 30	山口小学校 …P. 49-50
北 小学校 …P. 10-11	牛沼小学校 …P. 31-32	泉 小学校 …P. 51-52
清進小学校 …P. 12-13	柳瀬小学校 …P. 33-34	椿峰小学校 …P. 53-54
明峰小学校 …P. 14-15	東所沢小学校 …P. 35-36	三ヶ島小学校 …P. 55-56
伸栄小学校 …P. 16-17	富岡小学校 …P. 37-38	若狭小学校 …P. 57
美原小学校 …P. 18-19	西富小学校 …P. 39-40	林 小学校 …P. 58-59
並木小学校 …P. 20-21	中富小学校 …P. 41	宮前小学校 …P. 60
中央小学校 …P. 22-23	小手指小学校 …P. 42-43	

環境目標：環境教育を通じて、川や植物に関心を持ち、自発的に行動することができるようにする。

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 使用しない教室の電気やエアコン、扇風機等を消すよう呼びかけた。
・

<資源循環>

活動内容
・ ごみの分別に取り組んだ。
・ 資源回収（古紙・段ボール）に取り組んだ。
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 緑のカーテンを作った。
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 緑のカーテン

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

みどりのカーテンで、エアコンの消費電力を減らす。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。
緑のカーテンをつくるため、子どもたちが苗を植えました。



環境目標： 身近なところからはじめる環境への意識の醸成

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 掲示環境委員会の児童を中心として節電の呼びかけを行った。
・ 「はじめよう E C O生活！」エコファミリー認定事業の参加を呼びかけた。
・ 第5学年において、南極北極科学館へ見学に行き、人間の生活と環境との関わりについて学習した。

<資源循環>

活動内容
・ 給食の食べ残しや、プラスチック容器の使用の削減に取り組んだ。
・ 古紙・燃えるゴミ・燃えないゴミ等の分別に取り組んだ。
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 栽培委員会の児童が花壇の植え替えを行った。
・ とことこオーガニックの野菜、学校農園や校庭の樹木からとれた野菜や果実を学校給食に活用した。
・ 農家の方を招いて、オーガニック野菜の育て方や苦労等について話していただいた。
・ みどりのカーテンを作った。
・ 第1学年の生活科において、季節による生き物多様性を学習した。
・ P T Aと連携し、児童、教職員、P T Aが協働して除草作業を行った。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 とことこオーガニック野菜、学校農園の活用
【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】 児童にとって身近な給食から関心を広げ、環境への意識を醸成する。
【活動内容】 1 とことこオーガニックの野菜の活用 本校は、今年度とことこオーガニックの野菜を使用した給食のモデル校となっており、年間を通して定期的にとことこオーガニックの野菜を給食に使用している。給食を食べる際には、食育委員会の児童が作成した「食ベレター」で食材について紹介し、関心を高めている。 2 農家の方を招いての昼食会の実施 野菜農家の方を招き、6年生の児童と一緒に給食を囲んだ。児童から有機農業の大変さや喜びについて質問が出る等、関心が高まっている様子が見られた。農家の方から有機農業について説明をしていただくことで、化学肥料や化学合成農薬を使わない地球にやさしい農法について学び、環境を大切にすることの大切さについて考えることができた。 3 学校農園や校庭の樹木からとれる野菜、果実の活用 1年生が育てたサツマイモや、特別支援学級の児童が育てた大根等、学校農園でとれた野菜を給食で使用した。「食ベレター」で紹介をすることで、児童がより関心をもって給食を食べる様子が見られた。また、校庭にある樹木からとれる柚子を給食に使用した際にも全校児童に紹介し、身近な環境と食とのつながりを考えさせることができた。



環境目標：身近な環境に関心を持ち、持続可能な社会の創り手となる児童の育成

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・グリーンカーテンを育て、室内気温の上昇を抑制し、空調の使用電気量の削減に努めた。
・校内の水道、電気のスイッチ付近に節電・節水を呼びかけるポスターを作成した。
・校内の太陽光発電の発電量を知り、エネルギー資源の大切さを実感した。
・「ECO生活2024」や「エコライフDAY&WEEK 埼玉2024」への参加を呼びかけ、長期休業中に各家庭で取り組んでもらった。

<資源循環>

活動内容
・「銀杏プロジェクト」の継続。（学校の銀杏を採取し、商品化した。）
・地域の方の協力でコンポストを作成し、落ち葉を溜めて腐葉土づくりを行った。
・家庭で読まなくなった図書を寄贈してもらい、蔵書を充実させた。
・給食の残菜がでて、フードロスにならないよう呼びかけるポスターを作成した。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・学校農園を活用し、野菜を育て、収穫する体験ができた。
・「かみの山再生プロジェクト」参加し、植樹体験をした。
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 地域と連携した環境活動

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

地域と学校がつながりを持って環境活動を行うことで、児童一人一人が環境意識を持ち、持続可能な地域・社会の創り手になれるようにした。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

①「銀杏プロジェクト」



捨てられるだけの校庭の銀杏を5年生が拾い集め、地域の方にも手伝ってもらいながら処理し、1袋100円で商品化した。5年生でポップを作り、授業公開日に特別ブースを設けたり、近隣の無人販売所に置いたりして販売した。

②植樹体験

学区の再開発に伴い、減少した雑木を植え直し、何百年も持続する森をよみがえらせようとする「かみの山再生プロジェクト」に参加した。このプロジェクトは、市街地整備課と連携して行った。学校代表として、低学年の児童と保護者が苗木を植樹した。今後も木々の成長を観察する学習を通して 地域の貴重な自然として見守っていく予定である。



③図書の寄贈

家庭で読まなくなった児童でも読めそうな本の寄贈を呼びかけた所、保護者や地域の方、卒業生などから寄贈があった。これらの本を昇降口付近に自由に読める場所を設置した。

様々なジャンルを気軽に閲覧でき



るので、児童の興味関心の幅を広げることにつながることを期待される。また、家庭で使われなくなったものを再利用できることで物を大切にするメッセージも伝えられた。

環境目標：自然や資源を大切にする小学校～緑と触れ合う、資源物の回収～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ゴーヤの苗で緑のカーテンを育成した。
・「はじめよう ECO 生活！」エコファミリー認定事業の参加を呼びかけた。
・

<資源循環>

活動内容
・学校応援団（ARARE）と協働で資源物（新聞紙やアルミ缶）の回収を行った。
・
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・学校農園を活用した農作物の栽培体験を行った。
・PTA や地域住民と協働で除草作業や落ち葉拾いを行った。
・ドレミの丘や荒幡富士、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター等、地域の特色を生かした自然体験活動や環境保全活動を行った。
・おおたかの森足立さんの協力を得て、ビオトープの管理維持活動に取り組んだ。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】

ドレミの丘や荒幡富士、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター等地域の特色を生かした自然体験活動や環境保全活動

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

児童に自然と触れ合う体験をさせ、自然に親しむ心を育成するとともに、環境保全の大切さについて発達段階に合わせて学ばせた。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。



低学年の児童がドレミの丘で春探しをし、自然と親しんだ。



3年生の児童が、荒幡富士の歴史や植物などについて調べ学習を行い、自然と親しんだ。



2年生の児童が、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センターで里山管理について学習するとともに、焼き芋づくり体験をした。



環境目標：ものを大切にする心や物を無駄にしない心を育てる北小学校

～自分たちにできることから環境を守る取り組みを～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 6 年生が社会科の学習で地球温暖化防止を含む SDGs について学習する。
・ chromebook を活用して、さまざまな情報ソースから地球温暖化防止についてまとめる。
・ 電気やガスなどのエネルギーインフラについては、

<資源循環>

活動内容
・ リサイクルについては、日頃から資源の分別などを通して意識させるよう指導を行っている。
・ 4 年生では、社会科見学として、大久保浄水場と東部クリーンセンターへ見学に行った。
・ 見学したことについて、chromebook を使ってまとめる活動を行った。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 春と秋に栽培委員会の活動として花壇の植栽をおこなっている。
・ 運動会前の 9 月に、全校児童及び保護者で協力し、除草作業を行っている。
・ 学校農園を活用した作物の栽培や二か所の池等を活用した生物の飼育などに取り組んでいる。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 ごみの分別と紙類のリサイクル

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

- ・ リサイクルできるものなどのゴミの分別を徹底し、特に紙類についてはリサイクル業者に回収をお願いして、ゼロカーボンシティの実現に努めている。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

- ・ 6年生の社会科や家庭科などで、SDGs と資源のリサイクルについて学習している。また、4年生の社会科では、クリーンセンターなどの見学を通じてリサイクルの重要性や仕組みを学んでいる。
- ・ 校内でも、全学年を通じてごみの分別やその後のリサイクルについて意識を高める指導を行っており、習慣として定着してきている。
- ・ 分別を意識させるために、ごみ捨て場の整理の仕方や分かりやすく掲示をするなどの工夫して、教職員や児童への意識啓発を行っている。



環境目標：環境を守ろうとする心を育て、主体的な関与を促す清進小学校～ビオトープ活

動を中心に環境を考える～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 使用しない教室等の照明、エアコンを児童生徒主導で消した。
・ エアコンの適正温度の掲示を行った。
・ 「はじめよう ECO 生活！」エコファミリー認定事業や、長期休みには、「エコライフ」の宿題を全校で取り組んだ。

<資源循環>

活動内容
・ 給食の食べ残しが減るように、給食委員会が掲示物を作成したり、放送したりしている。栄養士も各クラスを周り、確認を行っている。
・ 夏休みの自由課題に「3R啓発ポスター」を入れた。
・ 教室で、プラスチック用のごみ箱と燃えるもの用のごみ箱を設置し、分別に取り組んだ。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 月に1回、児童や地域の方、学校応援団・教職員などがビオトープの維持や自然体験を目的として管理維持活動を行った。
・ 4学年の総合的な学習の時間「自然博士になろう」では、自然環境への興味を高める一環として、ビオトープ及び校外の「おおたかの森」でも体験学習を行った。
・ 緑のカーテンを作った。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 ピオトープ活動

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

植林や森林管理などによる二酸化炭素吸収量の増加を目指して、ピオトープ活動を中心に、学校内の植林の活性化を行った。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

本校では、月に1回、児童や地域の方、学校応援団・教職員などがピオトープの維持や自然体験を目的として管理維持活動を行っている。毎月「おおたかの森トラスト」代表の足立さんにご指導いただきながら、人工林の手入れや水の入れ替え、木の剪定の作業などを参加者が協力して行った。低学年～高学年と幅広い学年が参加し、大人と児童合わせて20～30人で幅広く環境維持活動に携わっている。ピオトープ活動で行われる体験学習を通して、自然環境に対する意識を高めることができた。また、活動を学校全体に周知するために「ピオトープ通信」の発行、ピオトープ前日に前回の参加者の感想発表を行うことで、参加人数が増加した。このことから、学校全体を通して、環境への関心が高まっているといえる。さらに、低学年のうちから、保護者の方と一緒にのこぎりで木の剪定を行うことで、環境の守り方を実践から学ぶことができている。

4学年の総合的な学習の時間「自然博士になろう」では、自然環境への興味を高める一環として、ピオトープだけでなく校外のおおたかの森でも体験学習を行った。3年連続の取り組みなので、これからも続けていき、4年生で必ず自然環境にかかわる活動に参加し、児童の意欲を高めていく。



環境目標：ダッシュファームの野菜でみんな元気に！

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・保健委員会より、使わないときは教室の電気を消すように呼び掛けた。
・屋上に太陽光発電パネルがついているので、電力を節約できている。

<資源循環>

活動内容
・ペロリン週間…給食委員会で給食の食べ残しの削減に取り組んだ。
・環境委員会が、書き損じはがきを集めた。
・環境委員会が、古紙・燃えるゴミ・燃えないゴミ等の分別に取り組んだ。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・かがやき農園（特別支援学級）
・ダッシュファーム（4年生）が、中庭の農園で野菜を育てた。（夏野菜・冬野菜）
・3年生が、サトイモを育てた（社会）。それぞれが育てた野菜を給食に出した。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 ダッシュファームで野菜を育てよう。

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

野菜を一から育てることで、野菜をたくさん食べようと意識しています。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください



マルチはり、穴をあける、野菜を植える、水やりをじぶんたちでやりました。

毎週観察をすることで、成長に気付きました。

大きくなったら、収穫しました。

苗うえから収穫までを通して、野菜を育てること、野菜を食べることの大切さを知りました。

環境目標：ESD を推進する環境にやさしい学校づくり

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 校舎屋上の太陽光パネルの発電量を常時表示し、エネルギーの効率的な活用への理解を図った。
・ ESD 委員会を中心に、教室のエアコンや水道の節電・節水を呼びかけ、ポスター掲示を行った。
・ 4 年生が育てたゴーヤで緑のカーテンづくりをし、緑の潤いとカーボンニュートラルの取組を行った。

<資源循環>

活動内容
・ 掃除の時間に校庭の落ち葉を集めて腐葉土を作り、ふかふかで良質な土で野菜の栽培活動を行った。
・ PTA の ESD 活動と ESD 委員会がコラボし、アルミ缶と牛乳パックの資源回収を全校で実施した。
・ 職員は学校で出る段ボールや古紙を活用し、2 次利用に努めた。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 緑の学校ファームの活動では、3～6 年生がそれぞれ育ててみたい野菜を学級ごとに自分たちで決めて、種まき・苗植え・水やり・除草・収穫などに取り組んだ。
・ 本校の栄養教諭による食育により、食に関する様々な情報を楽しく学び、食への関心を高めた。
・ ESD 委員会の活動では、種まき・収穫を行った大根を第 2 学校給食センターに納品し、2 月の給食で調理し提供してもらった。

令和 6 年度

所沢市立伸栄小学校

農業体験



第 3～6 学年

特 色

- 本校では、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進し、ESD に関わる様々な取組を全校で行っている。その一環として、3～6 年生と特別支援学級の児童が、校地内の学校農園を活用して、農業体験と栄養教諭による食育を組み合わせた食農教育に力を入れている。耕運作業や植付け、収穫などの活動時には、学校応援団の農園ボランティアさんの力を借り、年間 2 回の大きな収穫は児童の目を輝かせる貴重な体験となっている。

児童の感想

- ESD 委員会では、収穫した大根 50 kg を給食センターに届けて、給食に出してもらいました。みんなに美味しいと言ってもらえて、とてもうれしかったです。また使ってもらいたいです。
- お母さんが「値段が高いから野菜をもらえると助かるし、野菜の好き嫌いも減って、良い活動しているね。」とほめてくれました。

成 果

- 農業体験を通した貴重な体験はもちろんのこと、ESD の合言葉「**E**いいねー！**S**すごいねー！**D**（みんなでやれば）できるねー！」も定着し、本校の児童や保護者・地域にとって「いつまでもかけがえのない大切な学校であり続けるために自分たちにできること」を考え取り組むなど、主体性も育むことができている。

環境目標：地球にやさしい美しい学校づくり ～「身の回りの環境を大切にする心」を育てる～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 清掃時のバケツ利用を促し節電・節水に取り組んだ。
・ 使用しない時は教室の照明を必ず消すよう呼びかけた。
・

<資源循環>

活動内容
・ 各教室で燃やせるごみとプラごみの分別の徹底に取り組んだ。
・ 給食委員会が中心となり、給食の残菜を減少させる取り組みを行った。
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 飼育園芸委員会が中心となり、花壇の水やりや草むしり等、みどり豊かな環境づくりに取り組んだ。
・ 学校農園で育てた農作物を生活科や理科の学習で使用した。
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 みどりとふれあう活動

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

・花壇の整備や落ち葉掃き等を通して、環境に対する児童の意識の向上を図る。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

・飼育園芸委員会を中心に、花壇の水やりや草むしり等、みどり豊かな環境づくりに取り組んだ。

・長生クラブの方や職場体験の中学生と一緒に落ち葉掃きを行った。



環境目標： 自然の力を活用し、資源を守るとともに生活環境を向上させる

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 代表委員会による節電表示の掲示。
・ 蛍光灯の間引き。
・

<資源循環>

活動内容
・ 代表委員会によるペットボトルキャップ回収。
・ 放送委員会による黙食タイムの放送。
・ 保護者協力のもと、牛乳パック回収。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 校舎南側に緑のカーテンを設置。
・ 学校農園を利用した大根の苗植え及び収穫体験。
・ PTA と協働した落ち葉掃きと、低学年生活科で連動した焼き芋体験。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 学校農園で大根を育てよう！
【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】 児童が緑を育てる主体となること 収穫時の喜びを高めるために抽選会を行うこと
【活動内容】 9月 学年ごとに種まき 「皆さんは今から一つの生命を育てる親になる」 と語りながら一粒ずつ手渡しして植える 9～11月 学級で分担し除草や水やり等の世話 12月 大根収穫抽選会 収穫する順番を抽選で決定し放送委員が発表 (全員収穫可) 「皆さんで育てた大切な生命です。持ち帰って 料理してもらったら、生命をいただくという 気持ちでいただきますと言って食べましょう」 と放送委員が毎日放送する。



環境目標：家庭・地域と共に～人と自然の絆を紡ぐ中央小～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 節電を意識して生活するよう、児童集会でよびかけ
・ ポスターを掲示
・

<資源循環>

活動内容
・ 毎月委員会活動の日に資源回収
・ 学年だより等、配布文章のペーパーレス化
・ アルミ缶・スチール缶回収
・ クリーンセンターの見学（4年）、浄水場の出前授業（4年）、SDGsの学習（6年）

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ みどりのカーテンを校舎南東側に設置
・ 縦割り班による除草・落ち葉掃き
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 みどりのカーテン

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

建物への厚熱を抑止し、冷房に消費する電力を減らすとともに、意識づけになるよう児童・地域の方々と共にお世話をした。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

6月には、学校応援団・教職員・児童で支柱と網の設置、60株の苗植えを行った。



8月に育ったみどりのカーテンの様子。



毎日、児童・地域・教職員で協力して水やりをし、大切に育てた。ゴーヤのカーテンは、登校する児童を毎朝涼しげに迎え、保健室や図工室をより快適なものとすることができた。

環境目標：児童の環境意識を高め、心のふるさととなる 緑あふれる、花いっぱいの松井小学校

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・花壇を花いっぱいにする。（目指す学校像と関連して）
・学校ファームに種から野菜を栽培する。（ダイコン、カブ）
・緑を大切にする呼びかけとしてのしおりづくり

<資源循環>

活動内容
・総合的な学習の一環で環境についての学習を行い、一人一つ学習課題を決めて取り組んだ。
・5月、9月、3月と環境整備を（PTA 及び地域の方と児童も参加して）行った。
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・校舎南側の花壇にゴーヤのみどりのカーテンを育成した
・園芸委員会の児童が種から苗を育て、ネット張りも児童が行った。
・学校ファームに各学年、野菜の栽培を行った。また、地域の方の畑でのジャガイモ、サトイモ、サツマイモの収穫体験も行った。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】地球温暖化防止の活動

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

みどりとふれあう学習の場や機会を増やし、みどりを守り育てる活動を行う。

【活動内容】

- ・花壇を花いっぱいにする。(目指す学校像と関連して)
- ・学校ファームに種から野菜を栽培する。(ダイコン、カブ)
- ・緑を大切にする呼びかけとして、2年生が栽培して、処分するビオラや校庭の草を利用し、しおりづくりを行った。
- ・全校への環境問題周知のためのクイズ大会を実施した。



<園芸委員会によるクイズ大会実施の様子>

園芸委員会の活動の中で地球温暖化について学習し、地球温暖化防止についての方法を話し合ったことにより、環境活動に対する意識を高めることができた。また、150周年記念事業と絡めた環境問題周知のためのクイズ大会を実施したことにより、委員会以外の児童への環境意識を高めることもできた。

環境目標：地域とともに緑豊かな学校環境をつくる

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 使用しない教室等の照明を児童主導で消すよう呼びかけた。
・ 「はじめよう ECO生活！」エコファミリー認定事業の参加を呼びかけた。
・ 総合的な学習の時間で4年生が、木が減っていることについて課題意識をもち、調べ活動を行った。

<資源循環>

活動内容
・ 給食の食べ残しや、プラスチック容器の使用の削減に取り組んだ。
・ 古紙・燃えるゴミ・燃えないゴミ等の分別に取り組んだ。
・ 総合的な学習の時間で4年生が、ごみ問題やSDGsなどについて調べ、プレゼンにまとめた。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 学校農園、地域を利用した農作物の収穫体験を行った。
・ みどりのカーテンを作った。
・ 草取りや落ち葉掃き等、児童、保護者、地域の方も巻き込んで環境整備活動を行った。
・ 地域の方の力も借りて花壇の整備を行ったり、生活科で朝顔やチューリップ等を育てた。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 野菜を育てる活動

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

地域の方のお力もいただき、全学年で作物等に関心と愛着をもつことができるように取り組むこと

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

- ・ 学年ごとに畑での作物栽培（トマト、へちま、ジャガイモなど）
- ・ 地域の方を講師に招いての5年生の稲作体験（田植え、刈り取り）
- ・ 地域の畑に出向いての収穫体験（2年トウモロコシ）
- ・ 環境委員会による畑の整備
- ・ 5月に注文した秋種苗を植栽、世話（埼玉県みどりの学校ファーム）
- ・ 環境委員会による来年度に向けて畑の整備、作物の栽培



環境目標：地域の自然を守る安松小学校

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 使用しない教室の照明、エアコンの電源は確実に切るように取り組んだ。適切な室温管理をした。
・ 電化製品の使用後はコンセントを抜いた。
・ 手洗い時、水をだしっぱなしにしないよう全校で取り組んだ。

<資源循環>

活動内容
・ 古紙・燃えるゴミ・燃えないゴミ等の分別に取り組んだ。古紙回収活動に取り組んだ
・ 古紙回収活動に取り組み、リサイクルへの意識を高めた。
・ 給食の食べ残しや、プラスチック容器の使用の削減に取り組んだ。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 指導者に教えていただきながら林、水辺、池の観察、整備をした。学年ごとのビオトープ活動をした。
・ 学校応援団としてのビオトープ応援団を募集し、児童と協働しながら活動した。
・ 委員会活動では、生命委員会がパンジーを種から育てて花を咲かせる活動をした。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】ピオトープ活動（みどりの保全） 児童の委員会活動（学校花壇の整備）
【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】 ピオトープ活動や児童の委員会活動を通して、環境意識の向上を図っている。
【活動内容】 ○毎月1回、学年ごとにピオトープ活動を行っている。地域の指導者に来ていただき、校内のピオトープだけでなく、学習林を含めた環境整備活動を通して、自然についての知識や自然を維持していくための作業技術向上をねらいとしている。活動時は、活動学年の保護者だけでなく、学校応援団のピオトープボランティアにも参加していただいている。児童の活動の様子を知っていただくことも地域連携の視点では大切であると捉え、協働できる活動に取り組んだ。 ○児童の委員会活動においては、生命委員会の児童が、校内に設置している安松水族館で飼っている魚の世話をしているが、たくさんの人に興味を持ってもらえるよう、感想や質問を自由に書いてもらう紙を置いた。児童は色々な感想を読み、楽しみながら世話をしている。また、自分たちで花いっぱいの学校になるよう、パンジーを種から育てて、少しずつ伸びていく成長に喜びを感じながら水やりを欠かさず実践している。緑や生き物に対して、主体的に関わる児童の姿が多く見られるようになった。 ピオトープ活動の様子  安松パンジー花だん 

環境目標：自然への意識を高める学校

～自然の大切さを学ぶ取り組み～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

- ・学校や身近な地域社会の中での体験活動を通して、自然に対する感受性や環境に対する感心を高め、環境や自然と人間との関わり、環境問題と社会のあり方や生活との関わりについて考えさせる。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

- ・児童の意識を高め、活動の定着を図ることで推進に貢献している。

〈主な環境活動：主体性の育み、環境配慮意識の向上、環境保全の意欲の増加〉

1 《エネルギー》の活動

- ・クロムブックの液晶スクリーンを消し充電回数を減らす意識付け。
 - ・使用していない時の教室、廊下等の照明をこまめに切ることの推進。
 - ・トイレや手洗い場での節水の推進。
- ◎意識は高まっているが、蛇口の閉め忘れ、電気の消し忘れを繰り返し指導していく必要がある。

2 《みどり・生物多様性》の活動

- ・埼玉県みどりの活動、緑の学校ファーム等から補助金を受けての、学校ファームの整備、学校花壇、プランターの整備。
 - ・校舎前のみどりのカーテンの整備。
 - ・生活科や総合的な学習の時間での自然体験。
→里芋の収穫体験を新規に実施。
- ◎委員会の児童を中心に緑化活動を進めることができた。

3 《資源循環》の活動

- ・給食時の牛乳パックのリサイクル活動。
→低学年も2年生2学期より開始。（委員会児童が手伝い指導）
- ・給食の食べ残しの削減のための活動
（給食週間・給食作品展、給食委員会の児童朝会）
- ・4年生の下水道教室
- ・プリント等の裏面を再利用。
- ・シュレッダーでの裁断した紙のリサイクル
- ・再利用紙のトイレトペーパー使用。

委員会の児童による緑化活動



牛乳パックのリサイクル活動。



スクールガーデナーとの連携



環境目標： 環境問題に気づき、環境を守ろう

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ クラスを離れるときは照明や冷暖房を切るよう呼びかけた。
・ 冷房設定 26～28 度を推奨
・

<資源循環>

活動内容
・ PTA が主体となった資源回収
・ 学校からの配布資料をデータ化しペーパーレスの推進（tetoru 配信）
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 地域の農家の協力を得て、収穫体験を行った。
・ 学校のランドデザインで、花と緑の牛沼小学校を掲げ、花や木に囲まれた環境を作っている。
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

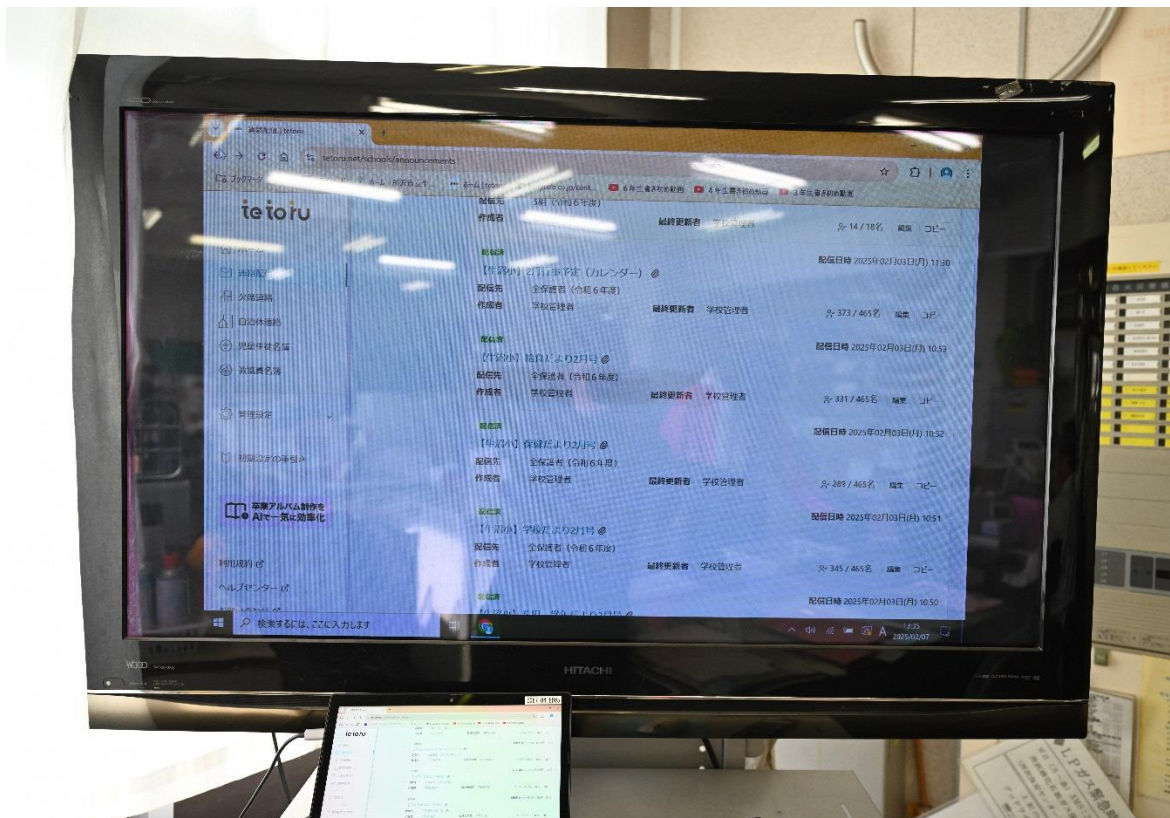
力を入れている環境活動

【活動名】 学校からの資料を tetoru 配信（データでの送信）にした

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

紙を使わなくてよい

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。



概算で

児童数450名 × 各お便り4枚 × 12か月 = 21600 枚 の削減である。

さらに、紙だけではなくインクやそれに伴う教員の時間削減にもつながっている。

環境目標：自然環境をいかし、資源を有効利用する柳瀬小学校

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・理科の「電気の利用」の学習を通して、エネルギー学習を行い、環境にやさしい電気の利用について考えた。（6年生）
・
・

<資源循環>

活動内容
・アルミ缶の回収BOXを設置し、積極的な収集を行った。また、計画委員会を中心に資源回収なども継続して行い、回収への協力を全校児童へ呼びかけた。
・
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・飼育園芸委員会を中心に、アサガオやヘチマを育て、校舎南側の側面に、みどりのカーテンを設置した。
・
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 みどりのカーテン

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

委員会活動で、緑化活動を推進するとともに、みどりのカーテンとなる植物の世話を通し、児童の緑化への関心を高め、環境意識の芽生えへのきっかけを提供した。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

飼育園芸委員会では、校舎南側の花壇でアサガオとヘチマを育てている。また、理科の学習で4年生の児童が育てているヘチマもあわせて花壇に植えて、「みどりのカーテン」を作成した。飼育園芸委員会の児童を中心に水やりを行った。自分たちが種まきから水やりをして育てるという体験を通して、緑化への意識が向上した。児童はヘチマの葉が茂ることで日陰ができることを感じていた。



環境目標：児童の環境意識を高め、自然を大切にしようとする児童の育成を目指す。

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 5年総合の授業で、「地球SOS～今私達にできること～」として環境問題を取り上げる授業を行った。

<資源循環>

活動内容
・ 通年、資源物(牛乳パック・段ボール・古紙・ペットボトルキャップ・カートリッジ)回収を行った。
・ 全校で給食の牛乳パックリサイクルに取り組んだ。
・ 環境美化委員会による古紙回収を、各クラスで行った。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ ゴーヤ、ヘチマ、朝顔の緑のカーテンを作った。
・ 腐葉土を作り、花壇や畑で活用した。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

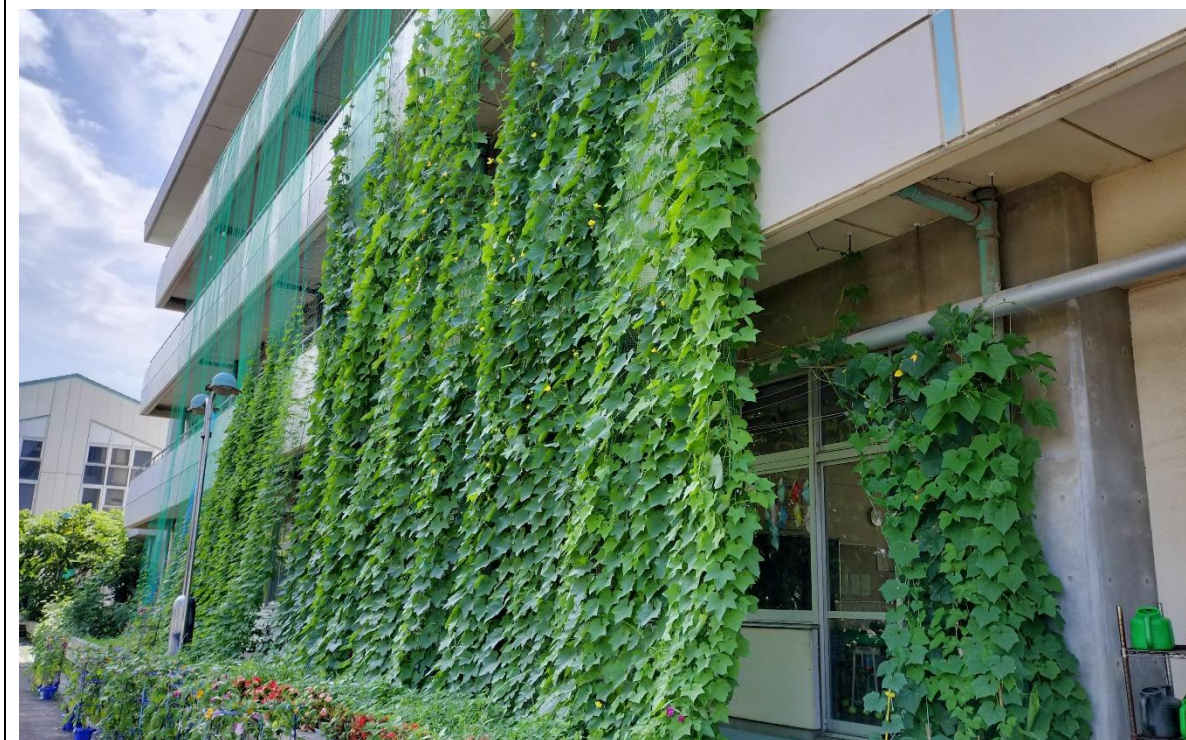
【活動名】 ゴーヤ、ヘチマ、朝顔の緑のカーテンを作った。

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

建物への暑熱を抑止し、冷房に消費する電力を減らせることを実感することで、身近な自然が環境問題の解決に関与していることが分かる。このことから、身近な自然を大切にしよう意識させたい。

【活動内容】

1年生が朝顔、4年生がヘチマ、3年生や園芸飼育委員がゴーヤ(白・緑)を育て、緑のカーテンを育てた。暑い日に、教室内が熱くなり過ぎることを防ぎ、エアコンの使用量削減につながった。



環境目標： 環境保護について自ら考え、自ら動く児童の育成

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 学校農園の野菜を給食に使用することで二酸化炭素の削減を図った。
・ 使用しない教室等の照明を児童生徒主導で消すよう呼びかけた。
・ 「はじめよう ECO生活！」エコファミリー認定事業の参加を呼びかけた。

<資源循環>

活動内容
・ 近隣にある石坂産業の三富の里山と資源処理工場の見学を行った。
・ 市の出前授業を通じて、ごみ問題についての授業を受けた。
・ 教室から出るゴミは、全て分別できるように取り組んだ。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 学校農園や、地域の農家の協力により農作物の収穫体験や地産地消を実践した。
・ 地域の特産であるお茶の工場見学により、地域で収穫されたお茶の加工を学んだ。
・ 給食で出る野菜の皮むきなどの体験をした。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 学校ファームの野菜を給食へ

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

学校の農園で取れた野菜を給食で使うことで、輸送にかかる二酸化炭素を削減できる。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

本校は三富開発の地にあり、学校の周辺には畑が多くある。学校の隣接地を学校ファームとしている。農場長として地域の農家の方にご協力をいただき、トラクターや耕運機などで、本格的に整備した農園となっている。そこで収穫した野菜を給食で提供することにより、収穫体験がより充実したものになるとともに、輸送にかかる二酸化炭素の削減を図っている。

自分たちが収穫した野菜を給食でおいしくいただくことで、富岡では野菜がおいしく育つことを実感し、地域の産業に誇りを持つ体験となっている。



学校ファームでの里芋の収穫の様子。

<左>農場長によるトラクターでの里芋の掘り起こし。

<中> 3年生の収穫体験の様子

<右>収穫した里芋。乾燥させた後、一部を給食に提供。.

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・教室を使わないときは冷暖房を切る、細めに電気を消すなどの節電に全校で取り組んだ。
・エコファミリーの取り組みに全校で取り組んだ。特に、夏のエコ生活は夏休みの課題の一つに加えることで、多くの児童が参加することができた。

<資源循環>

活動内容
・各教室でも「燃えるゴミ」「プラスチックゴミ」に分別し、裏紙も活用するなどゴミ問題に取り組んだ。
・給食でのストローの使用を控え、プラスチックゴミの削減に努めた。
・社会科の授業では、所沢市水道局の出前授業を受け、水資源の大切さを学び、水道に流してはいけないものについて学んだ。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・総合的な学習の時間に「身近な環境を守ろう」という単元で学校敷地内ビオトープの調査、整備活動を行った。外来植物の駆除や定期的な観察でビオトープへの関心が高まった。さらに、学校の近くにある「おおたかの森」の散策や調査活動、木の伐採等の森林保全活動を行った。
・全校児童や園芸飼育委員会で学校農園やビオトープ周辺の除草作業を定期的に行った。
・ゴーヤを使った緑のカーテンを作った。
・学校農園を使って、農作物の収穫体験を行った。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 身近な環境を守ろう(総合的な学習の時間)

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

4年生の総合的な学習の時間に「身近な環境を守ろう」という活動を設定し、ビオトープや森林の管理や保全の方法について学び、環境を守ることの大切さを意識づけた。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

1学期には、校内にあるビオトープを中心に学習を進めた。「おおたかの森トラスト」代表の足立圭子さんを指導者に招聘し、西富小のビオトープの役割とどのような植物や生き物がいるのかを教わった。その中でも、カラスムギやムラサキカタバミ等の外来植物を駆除することの大切さを学び、自分たちができる作業として定期的に外来植物を含めた除草活動に取り組んだ。夏には、アズマネザサやミントの除草を行った。



2学期からは、西富地域の自然環境を取り扱い、「おおたかの森」について学習した。オオタカやフクロウなどの多くの野生の生き物が棲んでいること、生態系ピラミッド、森林保全の方法などを一通り学習した後に、実際に森林の散策をし、自分たちの五感で感じ取る体験をした。その後、アカマツの育成に必要な「明るい森」を作るための間伐



を体験し、のこぎりで木を切る、枝を落とす、丸太と枝に分ける等の活動を行った。
また、冬を迎えた西富小でも落ち葉をつかった「落ち葉ケーキ」作りを行った。まだ少し湿っている落ち葉を木枠の中に入れて押し固めることで、発酵を促し3年の時を経て堆肥とすること、その間にさまざまな生き物の棲みかになることを学んだ。



3学期には、のこぎりでは切れないような大木の伐採を体験した。安全に配慮して、木にかけたロープを4年生全員で引くことで、ねらった場所に木を倒すことができた。その大木を切り分け、無駄なく活用できるよう分けた。児童は、土の柔らかさや木のおいを感じ、2学期に自分たちが間伐した森が陽の当たる「暖かくて明るい森」になったことに気付くことができた。また、作業場所につくまでに森の一部が売却され資材置き場になっていることも目の当たりにし、森を守る活動の難しさも感じ取っていた。ビオトープやおおたかの森での活動を通して、環境問題を自分たちにも関りのある事としてとらえ、解決していこうとする意識が高まった。



所沢市立中富小学校

環境目標

ふるさとを愛する心を育てる中富小学校

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】 <古紙回収>

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

各教室に古紙回収箱を用意し、児童・職員・PTAが協力して取り組むことができるように工夫した。

<主な教育効果：教師が呼びかけ、各家庭から持ち寄ることで、皆で環境について考えることにつながった>

<主な教育効果：教師が呼びかけ、各家庭から持ち寄ることで、皆で環境について考えることにつながった>

2 《みどり・生物多様性》

5年生児童が、総合的な学習で『バケツ稲の栽培』に取り組んでいる。地元の農家に農業・稲作について広くお話を伺いながら学習を進め、最終的には収穫し、炊飯、実食を行った。

ご協力をいただいている農家の方は、以前から地元の陸稲のことや戦争体験等についてもお話ししていただくなど、大変協力的な方で、農業がもたらす環境等についてもお話をさせていただくなど、ご協力をいただいている。

実際に食べることを含めた計画のもと稲を栽培することで、農業の体験活動に終わることなく、ふるさと中富の先人が経験してきた食生活を垣間見ることにつながる学習にもなっている。



3 《資源循環》

全家庭協力のもと、ベルマークを集め、学習活動に還元している。また、資源回収の観点から、PTAの協力を得て古紙の回収を行っている。

古紙回収については、『資源』について意識づけを図るために、「家庭での呼びかけ・無理のない範囲での学校までの運搬」を、児童も行うこととしたことで、自分たちの行動が、環境保全の一端を担っているということの自覚につながり、喜びを感じさせることにつながったと考えられる。

ベルマークの収集については、その収益から高圧洗浄機やトランシーバー等を購入し、PTAの学校応援団としての活動や林間学校等で活用している。

目に見える形で活動に取り組むことで「リサイクル」「資源を生かす」という考えにつながっていけるよう、今後も保護者、PTAに協力を呼びかけて活動を継続していきたい。

環境目標：学校全体で資源循環型社会を目指します。

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・所沢市のエアコン使用のガイドラインをふまえ、教室の室内温度を夏季は28℃、冬季は18℃になるように、エアコンの温度調整を学校全体で行った。
・児童会活動として、児童主体のSDGs委員会の活動を推進し、児童は自分たちにできることを調べて節電や節水等を全校児童に呼びかけた。
・7月と12月の学校だよりにて、各家庭に対して埼玉県「エコライフ DAY&WEEK 埼玉2024（夏（冬）」への参加を呼びかけた。

<資源循環>

活動内容
・学校全体で牛乳パックのリサイクルに取り組み、集団資源回収で得た報奨金を活用して校内の環境整備を行った。
・各学級で燃えるゴミ・燃えないゴミ等の分別に、主体的に取り組んだ。
・児童が校庭の落ち葉を拾い、その落ち葉を学校農園や花壇の肥料として使用することができるよう、たい肥作りを始めた。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・地域ボランティアの協力を得て学校農園を充実させ、特別支援学級（こばと学級）や飼育・緑化委員会の児童に農作物の収穫体験をさせることができた。
・自校給食の強みを生かして学校農園でできた農作物を給食の食材として提供し、地産地消の学習に役立てた。
・何年か活用していなかった花壇を整備してヘチマの大きな緑のトンネルをつくった。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】牛乳パックのリサイクルの推進と分別によるごみの量の削減

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

- ・給食で提供している牛乳のパックをていねいに洗い、集団資源回収として業者に引き取っていただいています。報奨金等は、校内の環境整備費として活用しています。
- ・清掃時や学習活動時に出てくるごみを各学級でしっかり分別することにより、紙としてリサイクルできるもの、資源としてリユースできるもの等を児童に学ばせています。このことから、ごみの量も少しずつ削減しています。

【活動内容】

<牛乳パックのリサイクルについて>

給食時に飲み終えた牛乳パックを一人一人の児童が開いて、ていねいに洗い、1日乾燥させた後、給食室でまとめます。まとめられたものは、SDGs委員会の児童に渡され、毎日ゴミ庫へ運ばれます。その後、牛乳パックは資源回収業者に渡し、古紙としてリサイクルされます。

また、資源回収業者や市から提供された報奨金を活用して、花壇を整備したり、学習に使用する教材を購入したりして環境整備を行っています。

本校は、今後も牛乳パックのリサイクルをはじめとする資源回収に積極的に取り組み、学校全体で循環型社会を目指して行きます。



<分別によるごみの量の削減について>

教室や昇降口、職員玄関等にごみの分別方法を例示したごみ箱を設置し、児童が意識的にごみを分別して捨てることができるようにしています。

また、分別方法については、美化委員会の児童が朝会で紹介したり、掲示物を作成したりしています。担任や庁務手も適宜、指導・支援をしながら環境に対する意識を児童の活動意欲を高めています。



今後は、児童が主体的にリサイクルに取り組む場を更に増やしていくとともに、教職員や保護者・地域が範を示し、地域全体で環境意識を高めていくことができるよう取り組んでいきます。

環境目標： 花壇に花植え（年3回以上）し、環境美化とみどりを絶やさない学校づくり

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 代表委員や整備委員会が「省エネルギー啓発運動」を行っている。
・
・

<資源循環>

活動内容
・ ほうさく村を計画的に使用し、体験活動の充実、資源循環の学を行う
・ tetoru やホームページを用いた、配布用紙の削減と廃品回収の実施
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 栽培委員会を中心に、花植え活動を実施
・
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 地域と環境を大切にする上新井小学校

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

ほうさく村（学校菜園）の活用・委員会活動を通して

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

・体験学習や理科の学習（植物の学習）に終始することなく、植物によって二酸化炭素が削減できる



こと等を学習し、実生活に生かす意識を高める。

・インターネット、ホームページによって、「学校だより」、「学年通信」を配信する。用紙の削減によるゼロカーボンシティに貢献できた。また、配布物は極力、配信している。

所沢市立北野小学校

環境目標：きれいな学校・ たのしい学校・のびゆく学校 ～日々の活動を通じた取組～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

「省エネチェック」

環境委員の児童が、全校児童を対象に、環境に配慮した生活を送れているか調査をする活動。環境委員が各クラスで課題を設定し、改善目標を立てることで、以前よりも環境について考えられるよう実施した。今年度は、エコライフ DAY & WEEK に参加し、夏休み中の省エネチェックもすることができた。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

自然の風をうまく利用して、扇風機やエアコンの利用を減らす活動や水道を使う時はこまめに止めるなどの呼びかけを行うことで、地球環境やエネルギー問題について身近に考えさせられるようにする。

＜主な教育効果：主体性の育み 環境配慮意識の向上 環境保全意識の増進＞

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

環境委員会の活動として、省エネチェックを毎週月曜日に各クラスで実施した。その中でも今年度は、教室を開ける際の節電の呼びかけ、水道の蛇口を閉める節水の呼びかけ及びポスター作成を重点的に行った。その結果、児童たちの節電・節水の意識が高まった。

2 《みどり・生物多様性》

学校ファーム

学校に隣接する学校ファームでジャガイモ・ダイコン・トウモロコシなどを栽培した。栽培した作物は、生活科や総合的な学習の時間で活用した。勤労と収穫の体験活動を通して、児童の食に対する意欲を高めたり、作物が育つまでの苦労について理解を深ることができた。

3 《資源循環》

職員室前にペットボトルキャップの回収箱を設置し、キャップの回収を行った。集まったキャップは、ペットボトル以外のキャップが混入していないかどうかを随時チェックし、回収袋に入れていた。家庭にも協力を呼びかけたことでリサイクルの意識を持たせ、多くのキャップを集める苦労について理解を深めたりすることができた。また、アルミ缶リサイクルや紙類のリサイクルにも環境委員会の児童を中心に力を入れて取り組んでいる。日常生活の中には沢山の資源があることを意識し、少しでも資源を無駄にしないリサイクル活動ができた。



環境目標：児童一人一人が主体的に活動する持続可能な環境教育

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 節水・節電の声掛けや掲示による周知
・ トイレ掃除にて、水切りモップを新たに導入して、節水に努めた
・

<資源循環>

活動内容
・ 牛乳パックの回収
・
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 生活科、理科の学習と関連しじゃがいもや大根、キャベツなどの野菜作りをした
・
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】牛乳パック回収

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

牛乳パックを開くのが苦手な児童でもできるように、環境委員会が作成した動画を活用して全学年が取り組めるように工夫した。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

開いた牛乳パックを各クラスで洗います

開いた牛乳パックを洗います。児童が主体となって回収を行うことで、再利用の意識向上につながっています。



洗った牛乳パックを乾かします

全クラスにかごを用意して完全に乾かしてから回収をしています。



環境目標：狭山丘陵の豊かな自然とともに～持続可能な社会をめざそう～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 各教室のこまめな電気の消灯を呼びかけた
・ 各教室のエアコンの温度設定の目安を決めた。
・ 「はじめよう ECO 生活！」エコファミリー認定事業の参加を呼び掛けた。

<資源循環>

活動内容
・ 給食の食べ残しについて学級会等授業で扱った。
・ 第4学年で東部クリーンセンターの見学をとおしてごみの分別などの取組につなげた。
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 地域の方の柳瀬川をきれいにする会に参加した。
・ ミヤコタナゴ、ホタルの飼育をとおして、環境教育をおこなった。
・ 地域の方と米作りをとおして環境教育をおこなった。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 山口の自然を大切にする活動

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

山口地区の地域の方と協力し、動植物を育てることにより二酸化炭素の排出量を減らす工夫

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

5年生の総合的な学習の時間「環境問題を考える」で「上山口地域ふるさと創生」を進める会の方々との米作り体験を行った。



毎年、所沢市埋蔵文化財調査センターより提供いただいている「ミヤコタナゴ」や山口地区の柳瀬川の最上流をきれいにする会の方々より提供いただいている「ホタルの幼虫」を飼育することで、生物の生態について興味を持つとともに、自然環境に興味を持つ活動を行った。



環境目標：環境教育を推進し、児童が身の回りの環境への意識を高められるようにする。

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 使用しない教室の照明・エアコンの電源を児童主導で消すように呼び掛けた。
・
・

<資源循環>

活動内容
・ 校内で古紙・燃えるゴミ・燃えないゴミ等の分別に取り組み、ごみ収集日の前日に放送で呼びかけた。
・
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 全校児童と保護者・地域の方々と一緒に、環境美化活動を行った。
・
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 全校縦割り除草

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

- ・ 除草作業を行うことで、自分たちの学習環境を整え環境美化に貢献しようとする意欲を持たせる。
- ・ たてわり班で作業を行い異年齢の子ども達が交流する機会を持つことで、社会性を育てる。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

- ・ 縦割り班ごとに、決められた場所の除草を行う。
- ・ 根から抜く・根についている土は払う・雑草と植えてある花を間違えないなどに注意して、集まったゴミは5・6年生が分別し、まとめる。
- ・ 班ごとに解散した後、5年生が決められた場所まで持っていく。6年生は1年生を昇降口まで送っていく。



環境目標： みどりと資源を守る椿峰小学校

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 屋上ソーラーパネルについて、調べ学習を行った。
・ 全校省エネ活動として、電気をこまめに消すこと、冷暖房使用の際は設定温度に気を付けた。

<資源循環>

活動内容
・ 毎週水曜日に、委員会の児童が中心となり、新聞紙・雑紙、ダンボール等の資源回収を行った。
・ 全校で牛乳パックのリサイクルに取り組んだ。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 4年生が総合的な学習の時間で、狭山丘陵いきものふれあいの里センターの方を招き授業を実施した
・ ビオトープを委員会の児童が中心となり、復活させた。メダカの飼育、笹船キャンペーン等実施した。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】

資源回収

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

資源回収を通して、ごみの減量や分別への意識を高めた。

【活動内容】

環境委員会児童が中心となり、1年間の目標回収量を設定した。多くの資源を回収できるように、校内放送での呼びかけ、「エコチケット」を配付したキャンペーンの実施を行った。また、ほっとメールでの呼びかけ、学校ホームページでの取組紹介等、保護者も発信している。



環境目標： 地域と共に環境・資源を守る三ヶ島小

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 節電・節水を呼びかけて、意識向上を行った。
・ 地域の自然を生かして、各学年で地域の環境を活かした体験活動を行い地域の豊かな自然を知り、それを守るために地球温暖化防止について学んだ。

<資源循環>

活動内容
・ アルミ缶・古紙の回収を行い、児童が資源を循環させることの意義を意識させることに役立った。
・
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 敷地内にある「むくろじ農園」で農業体験を行い、野菜を栽培し収穫することを通して作物の生長や育てることの大切さを通して環境保全の意識を高めた。
・ 「むくろじの森」にいる様々な生き物と触れ合い、多様性ゆえの良さを学習することができた。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】地球温暖化防止・エネルギー（節電・節水）

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

- ・節電など省エネルギーを意識した行動をとる。
- ・太陽光発電設置に伴い児童への電力供給にたいする意識付けを行っている。

【活動内容】

それぞれ各学年で、教職員が電気の点灯や消灯を行うだけではなく、児童たちも積極的に行っています。LED化もあり、ますます児童の興味や関心は高まっています。

右の写真のように低学年の児童も積極的に活動しています。



所沢市立若狭小学校

環境目標：身近な自然に触れ、環境の変化を 実感する若狭小学校 ～四季折々の自然とのふれあい～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

特別支援学級あゆみにおいて、ゼロカーボンに向けた取り組みについて紹介し、身近で自分たちにもすぐにできることを考える授業を行った。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

家庭や学校内でできる取り組みを考えてもらうことで身近にとらえてもらい、節電、節水などの推進に貢献している。

<主な教育効果：節電・節水意識の向上、食ロス意識の向上>

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

特別支援学級あゆみにおいてゼロカーボンシティ、節水についての授業を行った。「ゼロカーボンという取り組みとはどのようなものか」「なぜ、今話題になっているのか」ということについて図を用いて話をした。一人一人ができる身近な例として節水、節電、食品ロスを減らすなどがあることや、みんなで気を付けると少しずつ効果が出てくるということを理解した。特に節水については、節電やほかの環境問題にも大きく関わることを話した。

2 《みどり・生物多様性》

校舎西側にある学習林で1年間をととして体験活動を行った。学習林のそばにある畑では、低学年がサツマイモ、3年生がきゅうりと里芋、5年生はインゲン豆、特別支援学級あゆみがミニトマト、ブロッコリー、大根、かぼちゃ、ジャガイモなど様々な野菜の栽培・収穫体験をすることができた。キャベツやブロッコリーについた虫にも興味を持つようになり、淡い黄

色の幼虫が葉を食べて大きくなると緑色になっていくことに気付くなど、自然への好奇心が高まった。

1学期は緑が多く茂る環境の中で、理科や生活科の授業で虫や植物の観察にいろいろな学年が訪れた。2学期になり、秋が深まると多くの木が紅葉し、冬に近づくにつれて落葉した。落ちている実や落ち葉を使って遊んだり、図工の授業の中で生かしたりして自然に触れる体験を行うことができた。1年をとおして現れる昆虫や植物がどのように変化をするのか身をもって体験することができた。



3 《資源循環》

若狭小学校育成会と連携し、牛乳パックの資源回収を行った。年に数回行い、各回において児童は箱いっぱいになるほどの牛乳パックを家庭から持って来ることができた。

環境目標： 地域とともに、緑を育て、環境を守ろう～花壇で笑顔～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・ 委員会活動の一環で、節電・節水のポスターを作成し、全校で実践している。
・
・

<資源循環>

活動内容
・ 環境委員会を中心に、ペットボトルキャップの取組をしている。
・ P T A 活動の一環としてアルミ缶回収に取り組んでいる。
・

<みどり・生物多様性>

活動内容
・ 児童と庁務手を中心に花壇の充実を図っている。季節に合った花を植えることで、緑の良さを感じることができた。
・
・

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】花壇で笑顔

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

みどりを増やし、二酸化炭素の吸収量を増やす。

【活動内容】 ※活動の様子が分かる写真を添付してください。

季節にあった花を植える。また、花で文字や絵をつくり、植物に興味を持ってもらう。



所沢市立宮前小学校

環境目標：ふるさと東狭山ヶ丘の 緑豊かな学校と地域づくり

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

今年度もアドバイザーの指導を受けながら、「おおたかの森」の中で間伐などの体験をし、自然保護の手立てを学ぶとともに、森の保護活動の大切さを学んだ。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

子供たちが、体験活動を通して環境保全の大切さを実感し、そこから自分たちごとと捉えられるような学習につなげた。児童の意識啓発及び実践力の向上がゼロカーボンシティ実現に貢献している。

＜主な教育効果：環境保全への意欲の向上、態度の育成＞

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

節電を呼びかける掲示の工夫と呼びかけについては、SDGsと絡めた掲示物を作成し、取り組みを行った。

2 《みどり・生物多様性》

宮前ビオトープの維持に努め、プールで生まれたヤゴを捕獲し、宮前ビオトープに放すなど活用した。子供たちは、地域の動植物が宮前ビオトープに戻ってくことを期待している。

おおたかの森では、今年度もおおたかの森トラストの方々の力を借りて、森を守る必要性と整備する方法を具体的に学ぶことができた。子供たちは、定期的・継続的におおたかの森での活動を行うことで、みどりを大切にする気持ちと行動が育っていった。

3 《資源循環》

今年度も、残食を減らす取り組み（食育）に重点におき、力を注いできた。

給食センターの栄養士を講師に招き、廃棄する食品を減らすための考え方や健康になるための食生活について意識を高く持てるよう力を注いだ。

今年度は、食育主任が地区の食育部の役員になり、外部で学ぶ機会が多く、学んできたことを学校に広げる働きかけをしていた。

来年度以降、強化していこうと考えていることは、SDGsを絡めた省エネ意識のさらなる向上につながる取組、食を大切にする（食べ物を大切に、食のマナー等）取組である。